

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第40号
発行 2022年9月15日
発行人 小林 憲二

鐘華会会長 亀本 茂

初めまして、九州支部の皆さん。

今年1月鐘華会会長に就任しました亀本です。初めましてと言っても、殆どの皆さんとはかつて仕事の場面などでお会いしたことがあり、とても初めてとは思えません。前支部長の中村さんは私が人事部教育課に在籍していた時中央研究所の総務課長をされており、研修等で大変お世話になりました。現支部長の小林さんは私が労組大阪本社支部長をやっていたとき九州営業所が本社支部に所属していたため九州営業所の職場会で何度も顔を合わせました。他の方々も色々な出会いの思い出があります。コロナがなければ、支部例会などで懐かしくその時々を語り合えたのに残念でなりません。

もうひとつ私が九州支部に愛着を感じるのは、私も長崎の出身だからです。今でも親族の大半は長崎に住んでいます。私が生まれ、育ったところは時津町といい、羽根の長崎工場があります。(今は羽根という名称ではなくなったようですが)ここは子供のころ海水浴場があり、良く泳ぎにいらしたところでした。帰省して近くを通るたびに もっと大きな工場になってくれと祈ったものでした。九州カネライトが九州カネカロンといった時代にはカネカロン事業部に在籍していたので、良く行きました。西村さんや成相さんにはお世話になりました。夏の高校野球でもまずは長崎代表を応援し、次には勝ち残った九州のチームを応援するなど、住んでいる兵庫県や働いていた大阪のチームより身近に感じています。

かなり以前から腰を悪くしゴルフはできませんが、酒のお付き合い(これもだいぶ弱くなりましたが)くらいはできるかと思えます。支部例会ができるようになったら必ず出席しますので、是非声をかけてください。コロナが猛威を振るっています。皆さん、くれぐれもお気をつけください。

中村 晃

<最近思うこと>

今年2月12日にお亡くなりになった石原晋一郎さんを偲んで、最近思うことに代えさせていただきます。石原さんが九州カネカロンの社長時代、私は九州営業所に在籍していましたので、いろいろとお付き合いがありました。特に、紡績を中国に移転し九州カネカロンを閉鎖される時は、大変だったと思います。そして、平成12年(2000年)12月、鐘華会九州支部を発足させ、石原さんに初代支部長引き受けてもらうことになりました。(当時の会長は半場さんでした)

その後、九州カネカロンの後始末が終わり、石原さんが奈良のお帰りになることになり、支部長を私が引き受けることになりました。

石原さんは、本社支部で陶芸や写真で活躍されていましたので、九州支部所属では具合が悪く、転籍されましたが、九州支部の例会には毎年奈良から駆けつけていただき、会を盛り立てて下さいました。

特に、晩年は随分弱られたなと感じていましたので、出席していただいてありがたいと思いながら、奈良からの移動が少し心配でした。



また、恒例の「近況報告」もハガキに、毎回小さな字でびっしり書いていただき、その内容が「世界のビジネスリーダー」が読んでいるような専門書を

90才過ぎても読んでおられる等、いつも驚愕させられました。永いお付き合いで、思い出はつきませんが、これまでのご厚情に感謝し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

石原さん、鐘華会九州支部を永年にわたりご支援ご鞭撻いただき、本当にありがとうございました。安らかに眠りください。

<近況報告>

概ね、午前中は、パソコンでメール（フォローしている約20人がブログを更新すると連絡が入ります）・Facebook（友人179名）・twitter・youtube等でネットサーフィンを楽しんでいます。

昼からは、自転車で約30分かけてジム通い（金・日は休み）。ストレッチ、軽い筋トレ、ランニングマシン、水中歩行等で約2時間。そのあと、サウナに入っ（これがメインです！）帰ります。

夜は365日、休むことなく酒を飲んでいます。80歳になって少し控えた方が良かなと思ったのですが、「80歳の壁」という本を読んだら、「これからは、好きなように生きる」が基本のようなので、続けたいと思います。コロナ禍のため外で飲むことが激減しましたが、2年間お休みだったある飲み会が9月に再開するという連絡をうけ、今から楽しみにしています。

広政 誠

今年も山口県外1回と行動範囲が狭く、日常といえはゴルフとウォーキングで身体を動かす程度でストレスが溜まる日々。前夜の食事の内容が思い出せない事があり、最近では自己流の脳トレを始めました。

来年は免許更新の予定もあり、①新聞のコラムを読み2～3時間後にどのくらい内容を覚えているのか②インターネットの難読漢字に挑戦する等、効果に期待し続けなければと思いますが、なるべく早く鐘華会で歓談したいものです。

市木 丞

左腎臓動脈狭窄症をカテーテル手法により腎機能回復の手術をしました。この手術は手っ取り早く言うと腎機能低下の回復手術です。

左腎臓から右腎臓への動脈が細くなって血流が悪くなり血圧が上がる要因となります。

早々に入院し、動脈の血流を改善し機能回復策の手術です。手術はカテーテルでの施術で80分程度で済みました。今は特段の異常性もなく平凡に過ごしています。昨年10月頃から急激に「血圧」が上がりました。今回の手術となりましたが、原因を知っておく事が肝要です。

上野 與志隆

ご無沙汰しています。歳の割に元気で忙しくしています。

古いビルの管理で住人に振りまわされ、お宮の手伝い、病院通い、ゴルフ、庭の草取り等のほか、家内の買い物、その他の運転手等々でスケジュールはいっぱいに詰まっています。

子供達からの宿題の「エンディングノート」作りが一向に進みません。

家内が私が？どちらが先に逝くかで今後の人生が変わるため、暇な時にはジャブの掛け合いをやっています。早く皆さんに逢っておいしいお酒を飲みたいと思っています。

薬師寺 是文

大分県の津久見市にいる時には何もお手伝いができずに会員に名前だけを登録しているような状態でした。しかし、福岡県、熊本県それに郷里の大分県などで支部会員の皆様とゴルフをした楽しい思い出があります。

60代の若い時でした。津久見市に平成15年に新築したSCの家は空き家のままにした状態。人口が減少して今では2万人を切るような町になっています。農地やミカン農園などは後継者がいなくて放置されたまま。町の中は空き家ばかりで閑散とした老人の町になってしまいました。大阪へ帰ってから早いもので10年が経過。鐘華会大阪本社支部の会員に登録をしていますがもう80歳の年齢を過ぎては鐘華会では何の活動もできません。坐骨神経痛で足を踏ん張ると痛みが出てゴルフもこの2年間やって

いません。残念です。家の庭に菜園を作り多品種少量の野菜を作って生活しています。

今年になって和泉市の知り合いから農地を借りて愚妻と野菜作りを始めました。百姓の仕事は本当にシンドイ作業の連続です。午後にはスポーツジムに行きます。機械用具などを使って身体を鍛えることはやりません。風呂とサウナだけで身体健康維持に努めています。夜はボクサー犬を連れて散歩。犬を連れて歩かないと近所の人たちに徘徊していると思われる。郷里の津久見へは時々帰って家の周りの雑草取り、墓参りなどしています。コロナが蔓延するようになって以来大阪から津久見に帰ると近所の皆さんはディスタンスを保って近づいてきません。大分県のコロナ新規感染者は更に記録を更新しています。人口が少ないので福岡県の新規感染者ほどではありません。大分県では中津市や日田市など福岡に隣接する市町村で感染者が多くでているとグチをこぼしているようでした。

九州支部の皆様へどうぞよろしくお伝え下さい。

上野 賢二

小林支部長並びに役員の皆様お世話でご苦労様です。小規模ですが3つの会社の経営者として多忙な日々を送っています。コロナ禍での需要減、燃料費大幅増加、資材費高騰、最低賃金アップ、働き方改革対応と課題は山積みしていますが、出来ることを一つづつやっていくしかないと思っています。昨年6月からは地元商工会（会員1200人）の会長も引き受けています。年間120回位様々な会合等があり想像以上に忙しくしています。

そういう中での楽しみは同じ町内に住む長女夫婦の子供達（孫）の成長です。8才（女）、5才（男）、2才（男）の三人ですが9月には4人目（男）が誕生予定です。孫の成長を糧としてもう少し頑張ろうと思う今日この頃です。

支部会員の皆様のご健勝をお祈りします。

池田 広治

カネカをやめて帰郷して37年経ちました。化学関係はやめて親戚が経営していた建築の道に入りました。その後、自営の会社を設立し時代に合った太陽熱で床暖房したり湯沸かしをする家を造ったりしています。今は息子に代表を譲り顧問的な立場で日々過ごしています。体調は不全です。

渡辺 和憲

日本の寿命は男女平均84歳。健康寿命は74歳（寝たきりが長い期間あるんだ）。

馬齢を重ねていますが健康とカネカ年金はありがたいんだなあとおつくづく思う今日この頃。

橋本 滋

何とか生きています。コロナで引きこもりの生活です。

真部 邦則

九州、山口支部及び大阪支部（私は大阪支部の所属で、九州、山口支部の行事に参加させて頂いております）の皆様、お元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

先日、長男一家が帰省しましたが、7月の初めに全員がコロナ感染したと聞き、思わず「何で帰って来たの?」と言いましたが、全員軽くて後遺症もなく、そんなものかと変に納得したものです。皆様はいかがですか?

さてご報告ですが、私は前立腺癌となって全摘手術を受けました。以前からPSA検査（一般の血液検査にプラスした検査）をして、数値が4の時に生検をして問題は無かったのですが、毎年数値が1ずつ上がり、10に近づき再度生検した結果、癌と診断されました。治療方法は、ホルモン治療、抗がん剤治療もありますが、ごちゃごちゃするのが嫌で、全摘手術をしました。ダビンチサージカルシステムでの手術でしたが、6月21日入院、30日退院、7月11日に最初のゴルフ、その後は3日に1ラウンドのペースでゴルフ

を続けています。

今は尿漏れが続いて大変です(ゴルフ中と草取り中は多い)が、三ヶ月は辛抱とのことで、回復!!を祈っている状況です。年齢を重ねていくと何らかの障害が増えて、困ったものですが、前向きに残る人生を過ごすように考えています。MRI や CT 検査では転移は無いとのことですが、他の部位にも癌が発生する可能性はある訳で、健康診断は続けて行きます。支部の皆様とはコロナが終息したらお会いできますので、楽しみにしております。

皆様及びご家族のご健康とご多幸を祈念致します

梶崎 賢治

年のせいか近所の店に買い物に行くのにも何回か立ち止まっております。家のまわりの雑草取りをしてやります。病院に行く以外は家にこもっています。

坂元 均

先日、4回目のコロナ感染予防接種をしました。次の日に 37.0 度の微熱がありましたが、大したことはなく、安心しています。さて、中国古典楽器二胡の演奏練習を始めてから、6年が過ぎました。



一流演奏家になるには、20年かかると言われていますが、何とか弾きたい曲は練習すると弾けるようになりまして。現在の練習曲;何日君再来、桜坂、シルクロードテーマ曲、良宵

これからの目標曲;二泉映月、情熱大陸、ジュピター……………です。

写真は、今年4月の発表会での演奏写真です。



山中 俊一

ご無沙汰しております。

腰骨骨折後、運転免許も返納し急用以外は余り外出もしません。最近、支部例会にも参加しておりませんが、体調が回復すれば皆様とまた楽しい話が聞ければと思います。

どうか皆様もくれぐれもご自愛ください。

岩出 進

「皆様ご無沙汰していております。いかがお過ごしでしょうか？」

今年こそ、元気なうちにあっちこっち旅行に行きたいなと思っていましたが、コロナが収まりませんね。

昨年、初孫が二人同じ7月に生まれで大忙し！コロナに負けないに、体力を付けるべく仲間と年相応のテニスを頑張っています。早くこいこい自由に動ける世の中！

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

西村 和夫

ご無沙汰してます

写真は庭の菜園と柳葉ルイバ草です

最近では請われて区内の評議員をやっています

県無形民俗文化財指定の「久富盆綱引き」祭りの世話や筑後市の広報配布資源ごみの分別作業手伝いなどやっています

鐘華会行事は個室ビジネスホテル利用の完全ソーシャルディスタンス旅行を少しコロナが収束した

時点で計画したらどうでしょう
会長各位のご健康をお祈りしております。



園 博

新型コロナウイルス問題、ロシアウクライナ問題、異常気象（干ばつ・水害）など、海外依存の高い燃料・農産物（香辛料）・ロックアウトと食品営業としては実にやりきれない。また、コロナは仕事のやり方を大きく変え、時代遅れの小生は自宅・リモートは耐え難く、電話・メールでのやり取りと顔が見えないでやりづらい。

個人的には仕事は継続しているが、病気で検査数値で変化、高血圧、脳血管以外に糖尿病・肝機能の赤信号・中性脂肪・血糖値と基準倍増で、まず今年4月よりウォーキングを開始したが猛暑で・・・無理するなの声に直ぐに従い中断。毎日ゴロゴロの今日この頃です。

永井 辰夫

70才になりましたので稲作の面積も縮小して、体力温存に努めております、

昨年の4月から、水道メーターの検針員となり、7時から19時頃まで、夏は猛暑(34℃)、冬は極寒(-5℃)に耐えて農機具のローン返済に四苦八苦しています。

小林 憲二

持病の糖尿病と帯状疱疹が原因で神経痛になってしまった痛みの通院も3年が経過しています。今年は前立腺癌の検査入院も加わり決して健康といえない体調となっていますが、どうにか引き続き海

の中道海浜公園の仕事を頑張っています。



公園内のムードはコロナ禍の二年間の自粛も徐々に解放され、遊びに訪れる人々も徐々に増えているし、マスクを付けていない人たちも見受けられ、自粛ムードは薄れている状況が見受けられますが、自分としては仕事・買い物以外は自粛し、極力外食を避け家の庭いじりをしながら暮らしています。



機会あれば公園の散策やレンタル自転車で広い公園を走り回るのも気分転換に楽しい過ごし方になるかとも思いますのでお越し下さい。



支部活動について

昨年10月以降落ち着きを見せていたコロナ感染ですが、年明けから日を追い爆発的に新規感染者が増加してきました。カネカ並びにグループ会社においてもご家族の感染濃厚接触者が急増し、かかる状況に鑑み、下記の点に留意のうえで各支部での活動・組織運営に当たるように鐘華会亀本滋新会長よりご指導がまっています。

- ①地域によって事情が異なることから地域の実情に応じた活動を基本としますが、判断にあたっては国・所属自治体及びカネカが示す基準を遵守すること。
- ②支部活動の維持・会員相互の交流継続に向けて、オンライン(Zoom等)の活用を含め、それぞれで工夫をして頂くこと。
- ③具体的な活動に際しては引き続き会員各位の安全と健康の確保を最優先事項とし、くれぐれも無理のない活動を行うこと。

以上のように方針が出されており、加えて8月3日に行われた役員会にて本年の支部例会については中止と決定致しました。

支部活動も2年間ご無沙汰となっていますが、この度発行の為に協力頂いた鐘華会亀本会長をはじめとし、九州支部会員の皆さんの<近況報告>により、相互の親睦として「第40号支部だより」を発行させて頂くことが出来ました事、ありがとうございました。

前支部長の中村晃さんの<最近思うこと>で九州支部の発足が思い出され、ふたたび故人石原晋一郎さんのご努力に感謝したいと思います。

さて、あれ程増加に転じてきたコロナ感染者数も9月に入り、新規感染者は減少傾向となってきましたが、今しばらく密を避けて安全で無理をしない支部活動の再開を九州支部役員の方々と検討していければと思っております。